

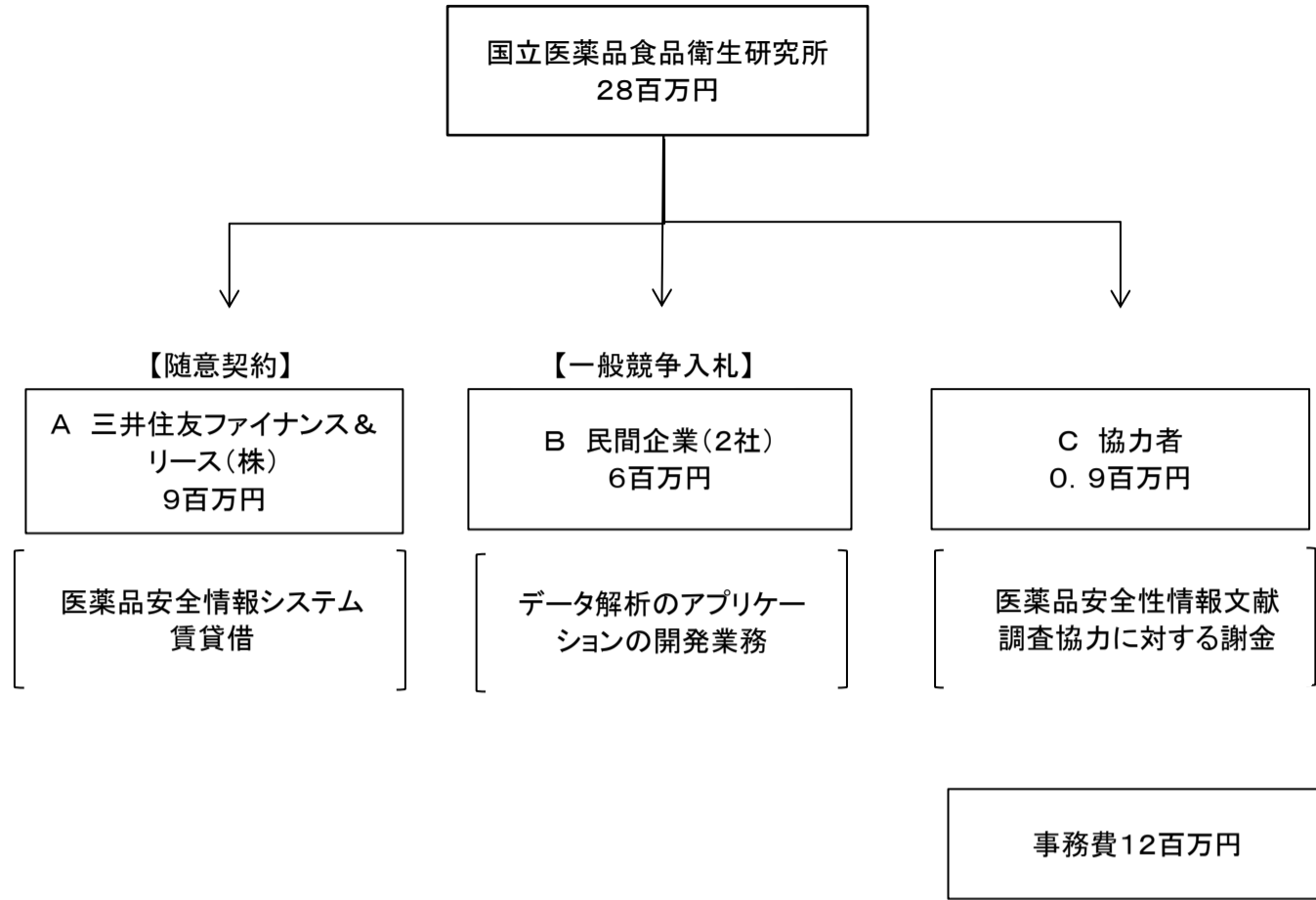
平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	医薬品の安全性に関する情報の科学的・体系的収集、解析、評価及び提供に係る研究事業費		担当部局庁	国立医薬品食品衛生研究所		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度		担当課室	総務部会計課		渡邊 裕一			
会計区分	一般会計		施策名	VI-3-4 国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保する					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	—					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	血液製剤によるHIV感染などを教訓とし、海外の重要な医薬品安全性情報を専門家が収集、評価、解析を行い、厚生労働省などの関連部署および一般国民に、信頼できる最新情報として迅速にわかりやすく提供することにより、健康被害防止や安全性確保に役立つことを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	厚生労働省医薬品局薬品安全対策課・同審査管理課、医薬品医療機器総合機構、国立病院、一般の医師・薬剤師、一般市民に対し、 1)WHO、米国FDA、欧州EMAなどの公的機関や、国際的な主要臨床医学雑誌N Engl J Med, JAMA, Lancetなどから、最新情報を収集・評価・解析し、重要なものについて隔週、日本語でE-mailで情報提供し、ホームページ(HP)にも掲載する。 2)新たに生じた医薬品関連の課題について、海外公的機関の対策(例えば2009年の新型インフルエンザ流行時の抗ウイルス薬の緊急時使用許可の情報など)に関する情報提供やHPへの掲載を行う。 3)医薬品安全性の情報検索に有用なデータベースの構築を行う。								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求			
		当初予算	29	29	28	28	28		
		補正予算							
		繰越し等							
	計	29	29	28	28	28			
	執行額	29	29	28					
執行率(%)	100%	100%	100%						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)		
	ホームページへの年間アクセス件数		成果実績 アクセス数	約25万件	約25万件	約25万件	約25万件		
			達成度	%	100%	100%	100%		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込		
	「医薬品安全性情報」を隔週で年間26号発行。総頁数約600頁を目標とする		活動実績 (当初見込み)	号	26号(隔週, 総頁数約600頁)発行	26号(隔週, 総頁数約600頁)発行	26号(隔週, 総頁数約600頁)発行	— ( 26 ) ( 26 )	
単位当たりコスト	—		算出根拠	本事業は、国民にとっての健康被害防止や安全性確保に係わる事業であること、また医薬品の種類および副作用が多岐にわたる上、専門家が科学的な根拠にもとづいて質の高い情報を迅速に提供していることから、情報の収集、調査、評価、解析に要するコストを単純に算出し、費用対効果を推し量るのは困難である。					
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	諸謝金	0.9	0.9						
	職員旅費	0.8	0.8						
	試験研究費	26	26						
	計	28	28						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	×	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	・医薬品安全情報システム賃貸借について、動作環境の互換性を維持する必要から当該業者以外には行うことができないため、随意契約を締結した。
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・国民の健康被害防止や安全性確保に係わる重要な海外の最新情報提供を目的とした「医薬品安全性情報」は、事業開始以来一度も中断することなく定期的に情報提供を継続しており(2011年6月現在の総発行数227号総ページ数約5000ページ)、厚労省等の関連部署や一般国民にとっての信頼性の高い重要な情報源となっている(「医薬品安全性情報」ホームページへのアクセス数は年間約25万件)。今後も、健康被害防止や安全性確保に資するため、迅速な情報収集及び関係機関や国民への情報提供を行っていく必要がある。</p> <p>・執行管理表により支出先及び使途等について管理を行い、経費の適切な執行に努めている。</p>		
一部改善	<p>医薬品の安全性に関する情報の科学的・体系的収集、解析、評価及び提供に係る研究事業費について、恒常的に多額の不用が生じているわけではないものの、執行実態を精査のうえ効率化を図ること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>事業実績を踏まえ、事業に必要な経費を精査し、消耗品費の見直しを行った。 (反映額: ▲0.4百万円)</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.三井住友ファイナンス&リース(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
借料	医薬品安全情報システム賃貸借	9			
計		9	計		0
B.(株)菱化システム			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	データ解析のアプリケーションの開発業務	3			
計		3	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三井住友ファイナンス&リース(株)	医薬品安全情報システム賃貸借	9	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)菱化システム	データ解析のアプリケーションの開発業務	3	2	88.2%
2	(株)タクミンフォメーションテクノロジー	データ解析のアプリケーションの開発業務	3	3	79.9%
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					